

トキめきお米通信 VOL.23

平成22年 6月13日
佐渡トキの田んぼを守る会

里田まいちゃんが佐渡で！

なんとタレントの里田まいちゃんが、今年佐渡でお米作りをすることになり、5月17日に田植を行いました。



まいちゃんは、前から佐渡のお米のファンだったことや、トキや生きものと共生する佐渡の取り組みに興味を持ち、お米作りに来てくれています。

お米作りの指導は私たち佐渡トキの田んぼを守る会が担当し、10月まで4回ほど佐渡に来て時期的な作業を行います。10aの田んぼを初めて田植機で見事に植えて満足のまいちゃんでした。

第2回目は、生きものを育む農法の実践です！



まずは、江という年間水が溜めて生きものが生活できるよう水辺を作りました。

田んぼに水が無いときに、江に逃げこむことで生き延びれます。なれない手つきと腰付きでしたが、1枚の田んぼに江を設置することが出来ました。



続いて、生きもの調査です。生きものを育む農法で、田んぼに生きものがどれくらい増えたか調べます。ドジョウ、カエル、ヤゴ、ミズカマキリ、ミジンコ、など多くの生きものがまいちゃんを歓迎に顔を見せてくれました。

その後移動して、大きな平野の私の田んぼにドジョウが昇る、魚道をつけましたが、なんとこの3日後にはトキがこの田んぼにきました。恐るべし里田まい！！





会の農家の皆さんと佐渡づくしの料理で交流会をおこない、娘と参加しました。

まいちゃんは遊びの米作りではなく、本気でお米作りをしようと来ていることが伝わりました。

まいちゃんのためにも、美味しく、生きものがいっぱい田んぼ、米作りをしようと決意しました。(おじさんたちは若い娘には弱いのです。)10月まで楽しい米作りが出来ることに感謝です。次回は8月、子供たちと生きもの調査を計画しています。

日本の田んぼの歴史に1ページが！！

6月13日は、佐渡市田んぼの生きもの調査の第一回の統一日です。日本で初めて一地域全体で、生きもの調査をするのは佐渡だけです。当日は農家を中心に約700名の方々が参加しました。

佐渡の農家はお米を作るだけではなく、生きものを増やし、豊かな環境を作ろうと生きもの調査に取り組み、佐渡米は、トキを守るとともに、生きものへの優しいまなざしを持ったお米へと進化していきます。

第2回目は8月1日に行われます。



宣言する
高野佐渡市長

